

評 価 依 頼 項 目

依 頼 者 名	
技 術 名 称	
評 価 区 分	1. 材料、工法等の新技术 2. コンピュータソフトウェア 3. 研究段階にある技術の実用可能性 4. 工事の計画・発注段階での提案技術
専 門 技 術 分 野	※対象技術の該当する分野を○で囲んで下さい（複数可）。 鋼・コンクリート、地盤・基礎、流域・都市、交通、環境、 防災、調査・計画、設計、施工・マネジメント、メンテナンス、 その他（ ）
開発の経緯・目標	※できるだけ簡単に記入して下さい。
技 術 の 概 要 (工法・装置・理論)	※できるだけ簡単に記入して下さい。なお、説明用の資料は別に添付して下さい。
評 価 依 頼 項 目	※できるだけ具体的に記入して下さい。 例)「材料」の場合 ・ ○○○の特性値の確認または承認 ・ ○○○と他の材料との比較 ・ ○○○の製造標準の承認 例)「工法」の場合 ・ □□□工法の特徴の確認 ・ □□□工法と他の類似工法との比較 ・ □□□工法の施工マニュアルの承認 例)「コンピューターソフト」の場合 ・ カタログ通りの結果が得られることの確認 ・ 適用範囲（対象）の承認 例)「設計・施工指針の作成」の場合 ・ △△△を用いた×××構造物の設計・施工指針の作成
使 用 実 績	※あれば記入して下さい。
知 的 財 産 権	※必要があれば記入して下さい。
特 記 事 項	※必要があれば記入して下さい。

*必要であれば2頁となってもかまいません。